



# 明正ゼミナールだより

2020年

## — 7月号 —

人の性は生まれながらにして善か悪かの性善説と性悪説。私はその善と悪、両方を持って生まれてくると思っていたのですが、今の日本を見ていると、生まれてきた時は善で、大人になるにつれて悪になっていく気がします。四歳の孫がテレビのニュースを見ていて、「悪いことをするのって、大人ばっかりやん」と怒っているのを聞き、ほんまに情けない国だと思いました。

人は成長する過程で、どんな教育を受けたかによって、二者に分かれていくのでしょうか。人に優しくする人と、人を傷つける人。人を信頼する人と、信頼しない人。マスクを医療機関に寄付をする人と、マスクを転売し高値で売って儲けようとする人。政府は国民を信じていないからか、持続化給付金、この申請には必要書類が多い上、手続きがかなり面倒であるとのこと。一方それを審査し支払いをする民間企業の選別は甘い甘い。その支払いが遅れて、大変苦しんでいる中小企業が大勢いる中、何百億円もの予算で、社団法人サービスデザインと電通が受注しましたが、その経緯を大臣が明確に説明できない有様。こんな大変な時期でも、金儲けですか。

そういえば文科省が推し進めていた全国共通テスト。その採点を請け負っていたのはベネッセですが、その受注額の高額なことにほんまに驚きましたし、なるほどね、こうして政府と民間が癒着していくのかと、江戸時代の悪代官の顔が思い浮かびます。人を信じない人はお金しか信じない。一方、人を信じる人は、例えお金を失ったとしても、その心にやましさはないのです。私の母はその典型で、オレオレ詐欺にあれば必ずだまされるタイプです。多分泥棒が家に来たら、泥棒さんにお茶を出すことあります。母はこの世には悪い人なんかいないと信じているのです。人を欺きお金をだまし取る人より、お人好してありますが、人を信じてだまされるの方が多いんだと、いつも穏やかで決して怒らない母を見ていて、そう思います。

論語を学んで商売の哲学をはぐくみ、成功した、近江商人の「三方良し」の考え方。まさに現代に欠けているものであります。



## 連絡事項

7月23日(木)、24日(金)の祝日は、全コース休塾とします。

その両日、完全閉塾となります。自習、ブロードバンドの受講ができませんので、

各自自習道具をあらかじめ持って帰つておくこと。

